

2013年秋期(第153回)講演大会記録

2013年秋期講演大会は、9月17日から19日の期間、金沢大学角間キャンパスにおいて開催した。講演発表件数は1,016題、大会参加者は1,522名であった。

- 9月17日(9:00~9:40) 開会の辞、各賞贈呈式(自然科学大講義棟レクチャーホール)
- (10:00~17:00) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、KIM-JIMシンポジウム(自然科学本館、大講義棟、5号館 16会場)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(自然科学大講義棟大講義室)
- (18:30~20:30) 懇親会(金沢エクセルホテル東急「ボールルーム」)
- 9月18日(9:00~17:20) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(自然科学本館、大講義棟、5号館 20会場)
- 9月19日(9:00~16:50) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(自然科学本館、大講義棟、5号館 19会場)
- 9月17日~9月19日 総合受付(自然科学本館プロムナード) 付設機器・カタログ展示会、World Materials Day Award展示(自然科学本館プロムナード)

開会の辞(9月17日)

門前亮一実行委員長より開催の挨拶があり、続いて掛下知行会長より開会の辞があった。



贈呈式(9月17日)

各種贈呈の前に、掛下知行会長の式辞があり、続いて下記の通り贈呈があった。

第11回学術貢献賞贈呈式 10名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌509頁-510頁)

第36回技術開発賞贈呈式 12件51名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌510頁)

第11回功労賞贈呈式 3名(学術部門2名、技術部門1名)に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌514頁)

第23回奨励賞贈呈式 6名(物性部門1名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌514頁)

第3回まてりあ論文賞贈呈式 2編13名、第3回まてりあ啓発・教育賞」2編2名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌515頁)

第10回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌517頁)

第10回村上奨励賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞金贈呈。(受賞者; 本誌517頁)

第61回論文賞贈呈式 6編29名(物性部門1編、組織部門1編、力学特性1編、材料化学部門1編、材料プロセッシング部門1編、工業材料部門1編)に対し賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者; 本誌518頁)

第19回若手講演論文賞贈呈式 3編3名に対し賞状贈呈。(受賞者; 本誌520頁)

懇親会(9月17日)

金沢エクセルホテル東急(金沢市香林坊2-1-1)において日本鉄鋼協会と合同で開催した(参加者は237名、本会への申込者・招待者110名)。金沢の郷土料理、地酒、和菓子がふるまわれ、余興では伝統芸能の素囃子が披露された。参加者は金沢文化漂う中で歓談を楽しんでいた。



司会	富山大学 教授 松田健二
開会の辞・大会実行委員長挨拶	金沢大学 教授 門前亮一
来賓挨拶	金沢大学学長 中村信一
日本鉄鋼協会会長挨拶	新日鐵住金代表取締役副社長 宮坂明博
日本金属学会会長挨拶・乾杯	大阪大学 教授 掛下知行
余興	伝統芸能「金沢素囃子」
閉会の辞	日本高周波鋼業常務取締役 林田敬一

大会参加者 1,522名(一般761名、学生612名、非会員一般42名、非会員学生14名、相互聴講82名)、招待11名(非会員基調講演者5名、KIM-JIM 韓国側講演者6名)

学術講演会(9月17日~19日)

最終講演件数1,016件

欠講8件(講演番号: 一般No.300, 369 ポスターNo.P30, P37, P38, P51, P127, P128)

公募シンポジウム講演5テーマ130題(外国人招待講演1題、基調講演28題含む)

一般講演700題(奨励賞受賞講演6題、技術開発賞受賞講演12題、功労賞受賞講演3題、学術貢献賞受賞講演9題、村上奨励賞受賞講演3題、村上記念賞受賞講演1題含む)

鉄鋼協会との共同セッション17題

KIM-JIM シンポジウム12題

ポスターセッション157題

講演会場 20会場

第21回ポスターセッション(9月17日)

9月17日12:30~17:00の時間に自然科学大講義棟大講義室で157件のポスター発表が行われ、そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている141件の内容・発表について審査が行われた。秋期講演大会では2011年の沖縄大会をのぞいて、過去最高のポスター発表件数であった。

発表は二部構成で行い、一般講演は午前中で終了であったため、多くの聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

翌18日「優秀ポスター賞」28名が決定し、受賞者を総合受付に掲示した。



金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」23題は9月18日、19日に鉄鋼協会第16会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」10題は9月18日に金属学会B会場で開催した。

KIM-JIM シンポジウム

9月17日(火) 自然科学大講義棟 AV 講義室において、韓国側講演者6名、日本側講演者6名の12題の講演が行われた。

付設機器・カタログ等展示会(第34回)

機器展示16社から出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。



機械展示ブース。

託児室

9月18日(水)子供2名に対してシッター1名体制のもと支障なく終了した。

第11回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織である IOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では、World Materials Day を制定し、本年は2013年は11月6日(水)に世界同時に、「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。日本金属学会では、次の方が授賞し、IOMMMS には World Materials Day Award Winner を推薦した。

第11回日本金属学会 World Materials Day Award 受賞者(写真掲載は、本号523頁)

<p>Winner</p> <p>「チョロリンピック」 発表者 富山大学大学院理工学教育部 新川敬之君 共同応募者 富山大学大学院理工学教育部 佐藤誉将君</p> <p>第2部門賞(2件)</p> <p>「未来のための材料を楽しく体験しませんか? ~世界に一台、手作り燃料電池キャリアカー~」 発表者 新潟大学工学部 榎本 剣君 共同応募者 新潟大学自然科学研究科 宮島 優君 工学部 関谷凜太郎君</p> <p>「AI 昆虫のアルマイト処理」 発表者 富山大学工学部材料機能工学科 新田拓也君 共同応募者 富山大学工学部材料機能工学科 深見 舞君, 松並將弘君, 山岸晃大君</p>
--

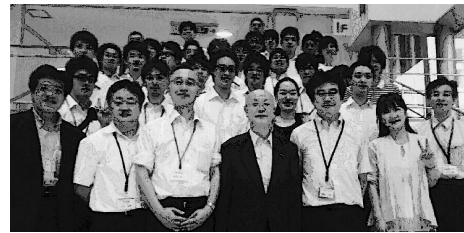
【大会雑記】

金沢大学での講演大会は1971年(昭和46年)以来42年ぶりの開催であった。

大型台風18号接近の影響により大会前日の交通機関が大幅に乱れ、来場者のアクセスに大きく影響があった。しかしながら、幸い大会自体に大きな混乱はなく、台風一過で三日間とも晴天に恵まれた。

講演は自然科学本館および大講義棟、5号館の20会場を使用した。共同開催した鉄鋼協会との会場まで徒歩15分程度の距離があったが、天候が幸いし地下通路を利用せずとも行き来が出来、支障はなかった。

金沢大学での金属学会講演大会開催に当たって、実行委員の皆様には準備当初より長期にわたり、大変なご努力とご配慮を頂き、そのご尽力により大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き、諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々はじめアルバイト学生の皆様、大学関係者各位に対しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。



実行委員(一部)およびアルバイトの皆様。



会場入口。



きれいな金沢名菓。

